

# 友愛

Y U A I

110

平成27年7月1日発行

特集 静苑ホームが老施協全国大会で  
5年連続6回目の入賞を記録!

特集 リハビリ強化へ向け機能訓練室を  
リニューアル。

●ふれあい通信

●スタッフエッセイ



社会福祉法人 北海道友愛福祉会



# 静苑ホームが 老協全国大会で 5年連続6回目の 入賞を記録!

平成26年11月、香川県で開催された全国老人福祉施設協議会の研究会議で、静苑ホームの「OB会設立!!～施設愛からのプロフェッショナルボランティア～」が奨励賞を受賞。

## 全国大会で評価されたOB会活動。

全国老人福祉施設協議会の研究会議では、介護サービスの質の向上に向けこれまで高齢者施設が培ってきた成果を発表するなど、毎年、全国から2,000名近くが参加し100例以上の研究成果が発表されています。橋本抄苗さんと杉村晃輔さんによる発表の「OB会設立!!～施設愛からのプロフェッショナルボランティア～」は、定年等で退職したOBの方々に、アルバイトやボランティアとして現役職員をサポートしてもらう活動です。

平成26年 香川大会  
奨励賞  
「OB会設立!!～施設愛からのプロフェッショナルボランティア～」  
介護副主任 橋本抄苗  
介護副主任 杉村晃輔

### きつかけは女性職員の 離職対策として。

設立のきつかけは、結婚や出産を迎えた女性職員の離職に歯止めをかけるため、「OBさんの手を借りられないだろうか?」との発想から生まれました。OB会の活動により効率的な人員配置が可能となり、結婚や出産による離職率が減少し、最近では5年連続でゼロを更新しています。それは職員の総合的なワークライフバランスの向上につなが

り、ご利用者への質の高いサービスの提供にもつながっています。

### 魅力ある職場が経験豊富な OBを呼び戻す。

2009年の設立以来、様々な活動を続けるOB会。退職した元職員が、週3回2名のローテーションで、シーツ交換、衣類の名前付けなどの間接的な業務のほか、夏祭りなどのイベントのお手伝いをおこなっています。なかでもOB会による「喫茶ななかまど」は、手作りの季節のおやつや飲み物が好評で、ご利用者、職員ともに楽しみにしています。今後も、経験ゆたかなOBの方々に再度、呼び戻すためにも魅力ある職場作りが求められています。



介護副主任  
橋本 抄苗さん



## 全国老人福祉施設協議会 研究会議 過去の入賞歴

平成25年 沖縄大会  
優秀賞

「欲張り多床室、  
想いがかたちになった部屋」  
介護士 清水まどか  
介護士 斉藤 弥



介護士  
清水 まどかさん

「西日が強く部屋にいられない」「夜の明かりやスイッチの音が気になる」など、4人部屋のご利用者からの声に応え、カーテンの交換、トイレの質感センサー設置などの改善をおこなった取り組みを発表。

ご利用者の声だけでなく、ご家族へのアンケート、さらには、部屋の改善ポイントを絵に描き模型を作るなどの取り組みが高く評価されました。「よく眠れるようになったよ」などの声に押され、現在、他の4人部屋についても順次取り組んでいます。



平成24年 名古屋大会  
奨励賞

「美介護職員のケアマネ取得への道、  
担当ケアマネとしての取組」  
介護副主任 田中 恵  
介護相談副主任 加茂卓哉



介護副主任  
田中 恵さん

介護士が取得することで、新たな方向性が開け将来へのスキルアップとなるケアマネジャー試験へのサポート体制を発表。

ケアマネジャー試験は5年以上の実務経験が必要で、合格率20%とされる難関の資格です。そのためサポートとして、月1回の勉強会の開催や模擬試験の実施などをおこなっています。また、複数の職員で取り組むことで、不安を解消し合えたり、やる気の向上につながるなどの効果もでていきます。



平成24年 名古屋大会  
奨励賞

「フレンドアイ、何かお手伝い  
できることありませんか?」  
介護副主任 山上千晴  
介護士 市原彩子



介護副主任  
山上 千晴さん

地域の皆さんへ恩返ししたいという思いから生まれた「フレンドアイ」という、職員有志によるボランティア活動の発表。

地域の在宅高齢者宅の窓拭きや公共施設などの清掃をおこなうほか、小学校への福祉教育を通しての交流など、広範囲な地域貢献活動をおこなっています。特に、施設のご利用者から「参加したい」という声があがり、施設周辺のゴミ拾いを一緒におこなうことになった「逆ボランティア」への取り組みが高く評価されました。



平成23年 岡山大会  
最優秀賞

「『軽い』食器から『思い』食器へ、  
世界にひとつだけの食器」  
介護士 田村大輔  
介護士 大槻智美



介護士  
田村 大輔さん

ご利用者にとつての食べやすい、自立支援ツールとしての食器を職員が地元の陶芸家の協力を得て手づくりした取り組みについて発表。

自分だけの食器を使うことで、ご利用者の食事への関心が増し、自力で食べる意欲を引き出すことができます。最優秀賞受賞から4年を経た現在、対象者は2、3名で、破損に備え予備も含めて制作。さらには陶芸家が制作現場に向いてくれるようになり、細部にわたる直接アドバイスを受けながら制作しています。



平成22年 富山大会  
奨励賞

「アフターフォロー  
ボランティア」  
介護主任 田中美雪  
介護副主任 田中 恵



介護主任  
田中 美雪さん

施設を退所されたご利用者の、地域生活を支えるためのボランティア活動を発表。

自宅で暮らしたいという希望に応えるため、毎日朝夕2回の電話による安否確認、さらに、月1回の職員訪問による窓拭き、カーテンの洗濯、お部屋の掃除などから、夏のお庭の畑作りや冬の雪かきなど、日常生活のサポートをおこなうとともに、見守りとしての役割も果たしています。活動開始からすでに6年ほど経過していますが、現在も変わらず活動を継続しています。





# ふれあい通信

北海道友愛福祉会とご利用者の皆さんの  
日々のふれあいを、あふれる笑顔の  
写真と一緒にご紹介します。

グループホーム  
ゆうあい

## 合同レクリエーションで交流を!

グループホームゆうあいでは週に一度、各ユニットのご利用者が交流ホームに集い合同レクリエーションをおこなっています。ユニットが違えど一つ屋根の下で暮らしている皆さんは、この合同レクリエーションを通じて今では顔なじみの関係になっています。



友愛  
ナーシングホーム

## 通所リハビリ・デイルームがリニューアル!



機能訓練室の移転に伴い、昨年12月に、空いたスペースを利用してデイルームがリニューアルオープンしました。新しいデイルームは以前と比べてとても広く、ゆったりとした雰囲気です。いろいろな趣味活動が同時におこなえるなど、ご利用者の皆さんから大変好評をいただいております。また、元のデイルームは静養室として静かな環境でお休みいただけるスペースとなっており、たくさんの皆さんに通っていただけるよう努めてまいります。

愛保育園

## みんなが楽しみにしていたクッキー作り☆



クッキー生地のお話や材料のお話を聞いた後、扇形のクッキーにチョコと小さなグミを自由にトッピングしました(∩\_∩)／たくさんのせすぎで、扇形がまあるくぺたんこになってしまうなんてことも(笑)  
4・5歳児クラスはそのほかに、プレーン生地とココア生地を使っているいろいろな形のクッキーも作りました。自分の顔を作る子や、動物や雪だるまを作る子など自由に作って楽しみました。いろいろ考えながら作っていくうちに2つの生地が混ざってマーブル生地になってしまう子もいましたが、みんな大喜びでした!  
3時のおやつには「自分たちで作ったクッキーを食べる〜♪」とみんな期待に胸を膨らませていました。おやつ時間はいつも以上に話がはずみ、満面の笑顔で食べていました。



ケアハウス  
ゆうあい

## 美しい季節となりました。



ケアハウスゆうあいの庭にたくさんの花が咲き、ご利用者はもちろん地域の皆さんのお散歩コースとしても楽しんでいただいています。バラ、ラベンダー、菊、コスモスと季節ごとにたくさんの花が咲きますので、ぜひ一度お越しください。

静苑ホーム

## アリオ気分でお買い物を楽しみました。



イトーヨーカドーアリオ札幌店が出張販売に来てくださいました。1階のホールに所狭しと菓子、果物、衣料品、生活雑貨などがずらりと並び、会場はアリオさながらの雰囲気につつまれました。この日を楽しみに待ち望んでいた方も多く、ご家族と一緒にお買い物を楽しむことができました。

恵明園

## 地域との交流会を楽しんでいます♪



恵明園は江別市豊幌という地域にあります。豊幌高齢者クラブの豊寿会さんとはいろいろな面で交流をさせていただいています。代表的なところでは、2月には毎年ご利用者と豊寿会さんの「歌の交歓会」をしてお互いの歌を通して交流を楽しんでいます。





スタッフも目をみはる効果の数々。

# リハビリ強化へ向け 機能訓練室を リニューアル。

友愛ナーシングホームの機能訓練室を改修したのは平成26年11月。半年以上が経過し、すでに「歩行できるようになった」「マヒが緩和された」など、これまでにない高いリハビリ効果の症例が報告されています。若い職員が主導の新リハビリ施設へ。

## 職員みんなの意見が詰まった機能訓練室。

そもそも機能訓練室のリニューアルは、介護保険の改定にとともに、自立支援に向けたリハビリ強化が求められたためでした。しかし、従来からあった機能訓練室をただ新しく広くするだけではなく、リハビリに対する取り組みを根本的に見直すことからスタート。従来の職員に加え、若くやる気のあ

## 約半年のリハビリで 車椅子から自力歩行へ。

最新のマシンを導入して、おこなう。パワーリハビリは、普段使わない筋肉を再活動化させ、立つ、歩く、座るなどの動作にこれまでにない効果が得られています。

改装後間もないころに訪れた、要介護5と認定された80代男性は、医師から在宅には戻れないだろうと診断されていました。当時は車椅子で、床に一人で座っていら

したが、パワーリハビリを始めると、自力で座れるようになり、次に立てるようになって、半年過ぎるころには、なんと自分で歩けるまで回復しました。そのため、現在はご自宅で奥様と暮らせるようになりました。

## 通所と入所の約130名が機能訓練室を利用。

パワーリハビリをおこなう「機能訓練スペース」のほかにも、温かい水圧でマッサージするウォーターベッドなどがある「リラクゼーションスペース」、さらには、キッチン、ダイニング、和室スペースを設置し、一般家庭の環境を意識した作業療法がおこなえる「作業療法ADLスペース」があります。この3つのエリアを利用して、より効果的なりハビリをおこなえるようにしています。また、iPadを導入し、ゲーム感覚で脳を活性化させるトレーニングをおこなえるようにするなど、ご利用者が意欲的にトレーニングできるように、細部にまで思考を巡らしている。現在、約130名がこの機能訓練室でリハビリに取り組んでいます。

### 機能訓練スペース

6種類のトレーニングマシンで、筋肉を再活動化させるパワーリハビリをおこないます。中央には個々に合わせたストレッチやマッサージをおこなうスペースもあります。



### リラクゼーションスペース

温かい水圧でマッサージをするウォーターマッサージベッドや空気圧で足をマッサージするなど、心身ともにリラックスしていただけます。



### 作業療法ADLスペース

一般家庭にあるようなキッチン、ダイニング、和室にて、実際の日常生活を想定した動作・作業をおこなうながらリハビリします。



## 平成27年春の叙勲 中田清理事長 瑞宝単光章受章。



この度、平成27年春の叙勲において、当会理事長 中田清が瑞宝単光章受章の誉れを賜りました。児童・高齢者福祉に携わり、歩みを重ねた年月は50年。当法人としても、誠に名誉なことではありますが、この間に

ご縁をいただきました多くの皆さまの温かいご支援のお陰と心より感謝申し上げます。当人はもちろん、法人としても引き続き地域福祉の発展に尽力する所存ですので、変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます、受章の報告とさせていただきます。



